

平成 19 年度 大学院入学者選抜試験問題 (第 1 次)

専門科目

経済政策・経済史・経営各論・会計分野

以下の問 1～問 5 の中から 1 問を選んで解答しなさい。

問 1 (経済政策) 米国の恒常的な巨額の貿易収支赤字と膨大な対外債務累積にもかかわらず、米ドルは、いままでのところ、国際的な基軸通貨としての地位を保ち続けている。その理由を、1960 年代、70 年代、80 年代、90 年代、そして 21 世紀になって現在まで、の 5 つの時期に区切って説明して下さい。

問 2 (経済政策) 次の (1)、(2) のうちいずれか 1 題を選択して解答しなさい。

- (1) 協同組合や特定非営利活動法人 (NPO 法人) など、いわゆる「非営利協同セクター」が現代の経済・社会において果たすべき役割について、行政や民間企業 (株式会社) との比較を念頭に置きながら、あなたの考えを論じなさい。
- (2) 農業経営を法人化することの意義について、近年の政策的な動向にも触れながら、あなたの考えを論じなさい。

問 3 (経済政策) 近年、都市の文化資源を活用した都市再生が注目されているが、こうした政策について論じなさい。

問 4 (経営各論) 以下の (1)、(2)、(3) のうちいずれか 1 題を選び、解答せよ。

- (1) 今日の企業をとりまく実践的な経営課題にはどのようなものがあるか。主要な課題をいくつかあげ、あわせて基本的な対処方向についても述べよ。
- (2) 今新しく事業を始めるとする。その場合、考慮すべきこと、検討すべきことにはどのようなことがあるか、説明せよ。
- (3) 企業経営において人と組織のあり方はきわめて重要なことである。では、今日の企業をとりまく情勢の下で、人と組織のあり方には、どのようなことが要請されているか。また、企業側においては、これを受けてどのような方策がとられているか、自らの知るところや考えを述べよ。

問 5 (会計学) 原価主義、時価主義、低価主義を比較論評しなさい。できれば最近の日本の制度会計における時価主義導入の動向にも触れること。